

サビの発生について

- 製品本体は、鉄板を加工しその表面にホーローが施されています。ホーローの特性上、鉄板の末端にはホーロー釉薬がかかりにくいので、サビが発生しやすいなっています。
 - 末端からのサビの発生はホーロー製品の製造上、避けられない欠点といえます。
 - 使用後はよく洗って乾燥させてください。水気を拭き取って乾燥させていただけますとサビの発生はある程度抑えることができます。
- ※サビが発生しても、鉄サビ（酸化鉄）は人体に害になるものではありません。柔らかいスポンジなどで洗っていただきますと、洗い落とすことができます。

お手入れ及び取扱上の注意

- スチールたわし、磨き粉やクレンザーはホーロー表面を傷つけます。ご使用後はスポンジに食器用洗剤をつけてよく洗い、水気を柔らかい布で拭き取って自然乾燥させてください。
- こげつきを落とす場合は金属製の硬い物でこすらずに、お湯に浸してこげつきを柔らかくした後で、食器用洗剤を付けたスポンジでいねいに洗ってください。
- 使用後は、ぬれたままにせずよく洗って水分を拭き取り乾燥させてください。
- 食器乾燥機、食器洗い機で使用しないでください。
- ホーローは表面がガラス質なので強い衝撃を与えないでください。ひび割れする恐れがあります。
- 塩分や酸等を含んだ汚れを付着したまま放置したり、湿気の多い場所での保管はサビが発生する原因になります。

品質表示

- 材料の種類 本体/ほうろう用鋼板（底の厚さ 0.6mm）
ふた/ポリプロピレン・熱可塑性エラストマー（耐熱温度 80℃）
- 表面加工 ほうろう加工
- 寸法 12cm
- 満水容量 1.45L

MADE IN JAPAN

本商品は、下地は中国国内で、給付け、仕上げの完成工程を日本で行った商品です。

Tamahashi co., Ltd.
製造・発売元 株式会社 タマハシ
〒959-1241 新潟県燕市小高4549-6
URL <https://www.smile-king.co.jp>
E-mail tamahashi@smile-king.co.jp

お問い合わせフォーム



ホーローマルチスクエアポット取扱説明書

この度はお買い求め頂き誠にありがとうございます。
ご使用前に、この説明書をよく読んでから使用してください。
お読みになった後も、いつでも見られるように大切に保存してください。

要保管

お使いいただく前に

- ご使用になる前に、取っ手のぐらつきやひび割れなどの不具合がないことを必ずご確認ください。
- 注意シールが、取っ手に貼ってある場合ははがさないでください。
- はじめてご使用になる時は、食器用洗剤を付けたスポンジ等でよく洗ってください。
- 品質には万全を期しておりますが、万一不具合があった場合はご使用にならずに、お買い求めのお店までご連絡ください。

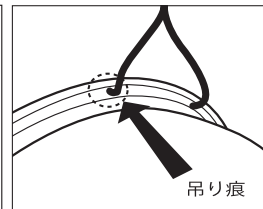
別紙「ホーロー（琺瑯）製品について大事なお知らせ」は、必ずご確認くださいようお願いします。

ホーロー製品について

琺瑯（ホーロー）は、鉄にガラスの膜を高温で焼き付けています。表面がガラス質なので、酸・塩分に強い上に、においがつきにくく非吸着性にすぐれ、色が移らず雑菌が繁殖しにくく衛生的です。

ホーローは工程のほとんどが手作りで製造しております。鉄（生地）の上に下地釉薬（黒色）を焼き付け、さらに上地釉薬（表面の色）を高温（約 800℃）の炉で焼成しております。以下の状態につきまして製造工程上避けることができません。手作りなので一点一点の状態に個体差があります。あらかじめご了承ください。

- ホーロー焼付工程での吊り痕
- 微細な黒点や線、シミ
- 釉薬やツヤの多少のムラ
- パイプ取っ手部分には、製造工程上の空気穴を設けています。
- 製品の端面部分には釉薬が乗りにくくなっております。
- 端面の黒い部分は下地の釉薬ですのでご安心ください。



本製品は、保存容器として食材の冷凍、冷蔵保存のほか、加熱調理にもご使用できます。(電子レンジは使用不可)

加熱する場合は、下記の注意を必ずお守り頂きご使用ください。

- 蓋は漂白剤を使用しないでください。
- 容器は、完全密封ではございませんので、保存する際に斜めに置いたり横向きに置かないでください。

加熱する場合の使用上の注意

注意 加熱中や加熱直後は取っ手、蓋が大変熱くなり火傷の危険がありますので、必ずミトンやふきん等で取っ手、蓋を持ってご使用をお願いします。

注意 蓋は保存容器専用の為、加熱する場合は必ず蓋を外して加熱するようにお願いします。

本製品は下記対応熱源でお使いください。



注意 空だきをしないでください。

注意 調理中は場所を離れないでください。火災の原因になります。

注意 電子レンジでは絶対に使用しないでください。

注意 ご使用のコンロ・ヒーターの取扱説明書にそって正しく使用してください。

- 空だきをしないでください。空だきは火災や本体の変形、取っ手の破損、ホーローのひび割れやはがれの原因になります。電磁調理器にも悪影響を及ぼします。また、万一、空だきをした時は、水などをかけずに自然に冷めるのを待ってください。
- 過熱により、調理物がこげつきますので、「中火」以下で加熱してください。電磁調理器をご使用の場合も同様に「中」以下にしてご使用ください。また、こげつきにより局部加熱となりホーローのひび割れやはがれにもつながります。時々料理をかき混ぜてください。
- 加熱調理中や、調理直後は本体が熱く、やけどの危険がありますので直接手を触れないでください。※特に幼児の手に触れることのないように十分注意してください。

- フチまで水などを満たした状態で使用しないでください。煮こぼれ、吹きこぼれにより、ガスの火を消す場合がありますので、調理物の量と火力を調整してください。また、調理中はそばをはなれないようにしてください。
 - 本体はコンロの中央部にのせて、底面から炎がはみ出さないように火力を調節してください。炎により取っ手が熱くなりやけどの恐れや、取っ手が破損し脱落によるやけどなどの事故の原因にもなります。また、2口以上のコンロをお使いの場合は、隣接するコンロの炎が取っ手にあたらないように向きと火力を調整してください。
 - 味噌汁など、調理物によっては再加熱(温め直し)の際に内容物が急にふきだしたりする突沸現象や場合によっては鍋が転倒して、やけどや物品を破損する恐れがあります。調理物を再加熱(温め直し)する際は次の事項を必ずお守りください。
 - ・強火で一気に加熱しないでください。
 - ・煮立の際はお玉で、よくかき混ぜながら加熱してください。
 - 天ぷら等の揚げ物料理に際しましては、油温を200℃以上に上昇させないでください。200℃以上に上昇すると油に引火して火災の危険があります。
 - ※油の容量は約450mlから約550mlまでを目処にご使用ください。油量が極端に少ない場合には急激に油温が上昇し、発火する恐れがあります。
 - 炒めものには使用しないでください。
 - 高い所から落とす等急激な衝撃を与えたり、空だきをした場合に水等をかけて急冷しないでください。
 - ストーブの上で使用しないでください。
- ### 電磁調理器 (IHクッキングヒーター) でのご使用について
- お使いになる電磁調理器の取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。
 - 電磁調理器をご使用の場合は必ず火力を(出力)を「中」以下にしてご使用ください。最大出力でご使用になりますと、短時間で空だき状態になり、底面の変形、ホーローのひび割れやはがれの原因になりますのでご注意ください。底面が変形すると温度コントロールが正常に働かなくなることがあり、火災の恐れもあり危険です。電磁調理器にも悪影響を及ぼします。
 - 電磁調理器は火を使用しませんので、温度感覚がつかみづらく、気付かないうちに鍋底がとても高温になっていることがあります。調理中は鍋のそばをはなれず、調理物の鍋底への焦げ付きがないかを常に確認してください。
 - 「揚げ物モード」でご使用の際、調理器の設定によって誤作動やエラー表示が発生する場合があります。その際には通常の加熱モードの「中火力」以下での使用をお勧めします。通常の加熱モードでご使用の際は、温度制御ができない場合があります。火災などを防ぐためにも絶対にその場を離れないでください。また、温度計などで必ず油温の確認をしながら調理してください。